



千葉県中小企業団体中央会 会長

## 飯塚 真太郎



皆様、明けましておめでとうござ  
います。

令和6年の輝かしい新春を迎え、  
謹んでご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、春先  
に行われた「ワールド・ベースボール  
クラシック」(WBC)で、日本が14  
年ぶりに3度目の優勝を飾り、新型  
コロナ禍で落ち込んでいた日本人の  
心に勇気と元気を与えてくれました。

また、6月から8月にかけての平  
均気温が過去最高を記録するなど、  
毎日暑い日が続き、「地球温暖化対策」  
に真剣に取り組む必要性を痛感した  
年となりました。

一方、昨年は千葉県が誕生して  
150周年ということで、これを記  
念するさまざまな行事が県内で行わ  
れました。

150周年の起点となったのは、  
現在の千葉県南部にあった木更津県

と北西部にあった印旛県が一つになっ  
て千葉県となった明治6年6月15日  
とのことです。

「ちば」の地名は、万葉集の中にも  
防人の出身地として触れられており、  
また、頼朝が再起のためにこの地の  
武將の支援を受けて力を蓄えた場所  
として、古くから国を支えるための  
重要な地域と認識されていましたが、  
江戸幕府が開かれてからは、その直  
轄地、親藩、旗本領が置かれたこと、  
利根川の治水工事により新田開発と  
水運がよくなったことなどにより農  
林水産業、醤油醸造業が発展した豊  
かな土地となりました。

明治期からは、首都の台所として  
農業・水産業がますます発展すると  
ともに、鉄道、港湾の整備が進み、  
様々な軍事施設が置かれました。第  
二次世界大戦により、その多くが空  
襲で消失しましたが、戦後は、その  
跡地等を利用して京葉工業地帯や大  
規模なニュータウンが建設され、国  
内有数の工業地帯を有する人口の多  
い県として大きく発展してきました。  
また、長い困難の時を経て開港  
した成田空港は、日本の表玄関であ  
り、人や物の流れの拠点として、こ  
れからの更なる飛躍の可能性を秘め  
ています。

さて、最近の中小企業を取り巻く  
環境は、新型コロナ禍からようやく  
抜け出ようとしつつあるものの、ウ

クライナ戦争、中東地域の紛争、東  
アジア地域における社会・経済情勢  
の緊迫化、世界的な異常気象の影響  
などによるエネルギー・原材料価格  
の上昇・調達難の深刻化、国内の人  
手不足や後継者の確保難、最低賃金  
の引き上げやコストの価格転嫁の難  
しさなど大変に厳しい状況が続いて  
います。

こうした厳しい状況に対応するた  
めに、中央会は、主力事業としての  
事業協同組合等の設立支援、既存組  
合の活性化の支援に今年も引き続き  
積極的に取り組んでいくとともに、  
経営革新計画やBCP(事業継続計  
画)の策定、DX化、SDGsへの取  
り組み、「ものづくり補助金」など多  
様な中小企業支援策を県や国の支援  
を得ながら力を尽くしてまいります。

年頭にあたり、この千葉の地が育  
んできた優れた人材や地の利に恵ま  
れた可能性を最大限に活かすために、  
本会の果たすべき役割を改めて意識  
し、県内唯一の中小企業等連携組織  
の専門支援機関として、起業や新た  
な事業への支援など、会員組合及び  
その構成員企業がさらなる飛躍を遂  
げることができるよう積極的に積極果敢に  
行動してまいります。

結びに、本年が会員組合の皆様にとりまして、実り多き一年となりま  
すよう、心からご祈念申し上げます。年  
頭の挨拶といたします。

千葉県知事

## 熊谷 俊人



謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

千葉県中小企業団体中央会並びに会員企業の皆様におかれましては、日ごろから県政の推進に御理解、御協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

また、昨年9月の台風第13号で被害に遭われた県民や事業者の皆様、心からお見舞いを申し上げます。

一日も早い復旧に向けて全庁を挙げて取り組むとともに、災害に強い千葉県づくりを着実に進めてまいります。

本年は、県内経済の回復を確かなものとし、賃上げと消費拡大、企業の成長などの好循環を実現するため、中小企業のDXやリスクリングなどにより、生産性向上や人材の確保・育成を支援します。

また、海外からの観光客も回復する中、誘客促進とともにワーケーションなど新たな旅のスタイルの促進などにも取り組んでまいります。

全国屈指の農林水産県として、「稼げる農業」の実現に向け、ICT等スマート技術を活用した取組を支援し、生産性の向上や作業の省力化を図ります。

また、さつまいもや梨など本県の顔となる品目の重点的なプロモーションなどにより、新たな販路拡大や魅力発信に取り組んでまいります。

昨年11月には就任後初めての海外出張として台湾を訪問し、本県の魅力をアピールしました。今回の訪問で築いた関係を深めながら、引き続き、様々な取組を進めてまいります。

成田空港は、第3滑走路新設など「第2の開港」ともいえる機能強化を予定しています。引き続き、空港を核とする国際的な産業拠点の形成を図るなど、地域の発展と空港の発展が好循環する地域づくりを推進してまいります。

県として物流をはじめ国際的な産業拠点の形成を図るなど地域づくりを推進してまいります。首都圏中央連絡自動車道や北千葉道路の早期整備、富津館山道路

の4車線化を促進するとともに、その整備効果を県内全域に波及させるため、銚子連絡道路や長生グリーンラインなどのアクセス道路の整備を積極的に進めてまいります。

新湾岸道路や千葉北西連絡道路は、沿線市とともに、計画の早期具体化を促進してまいります。

東京湾アクアラインでは、時間帯別料金の社会実験を実施しており、実施後の2か月間で渋滞による時間のロスが土曜日に44%、日曜日に24%減少したことが確認されました。今後、利用者の行動変化等を分析し、社会実験の評価を進めてまいります。

県誕生150周年を機に、昨年6月から「千葉県誕生150周年記念事業」を開始し、県内各地で記念パレードや芸術祭、民間企業とのコラボレーションによる各種キャンペーンなど、多彩な行事を展開しているところです。

本年は、次の100年に向け新たな一歩を踏み出す一年です。県民の皆様と力を合わせて未来の千葉県づくりに取り組んでまいります。

結びに、千葉県中小企業団体中央会のみますの御発展と、会員の皆様の御健勝をお祈り申し上げます。年頭のあいさつといたします。

全国中小企業団体中央会 会長

## 森 洋



明けましておめでとうございます。令和6年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、コロナ感染症の5類への変更により社会経済活動が正常化し、円安を活かしたインバウンド等の需要が回復した一方で、豪雨・台風等の自然災害、深刻化する人材不足、原材料や労務費等の価格上昇とその転嫁の遅れ、事業承継問題など、中小・小規模事業者を取り巻く経営環境は、引き続き厳しい状況に直面してきました。

こうした中で、昨年10月11日に宮城県仙台市で開催した第75回中小企業団体全国大会では、

全国各地から中小企業団体の関係者約2千名が参集し、

I. 中小企業・小規模事業者等の危機的状況の克服、成長促進支援等の拡充

II. 中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進

III. 中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備

の実現に向けて、組合関係者の皆様と共に取り組んでいくことを決議し、その実現に向け精力的に陳情活動を行って参りました。

その結果、大会決議の主要望事項が、令和5年度補正予算等による「デフレ脱却のための総合経済対策」に盛り込まれ、その早期かつ速やかな実行に期待するとともに、本会においても施策の広報と迅速な執行に努めております。

地域の人口減少に加え地域課題が多様化・複雑化することを踏まえつつ、資金繰り対策、経営改善・事業再生、デジタル化の推進や、リスクリング等の「人

への投資」、ものづくり補助金、事業再構築補助金や省力化投資補助金による生産性向上、インボイス導入による事務負担増、物流の2024年問題、外国人技能実習制度の変更、スタートアップ育成、輸出拡大、大阪・関西万博などの最重要課題については、会員皆様との連携を一層強化し、伴走支援を図って参ります。

結びに、令和6年の甲辰の年は「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」といった縁起の良い年とされています。本年が、中小企業組合と中小・小規模事業者の皆様にとりまして、成長を実感する1年となりますことを心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

令和6年元旦





株式会社商工組合中央金庫  
千葉支店長

## 寺西 英明

令和6年の新春を迎えるにあたり、所感の一端を申し述べて年頭のご挨拶とさせていただきます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、経済活動が正常化に向かう一方で、原材料価格の高騰や人手不足感の高まり等、国内外の経済の先行きに不透明感が大きく高まりました。さらに、中小企業の過剰債務解消に加え、政府が進めるカーボンニュートラルへの対応、自然災害に備えた事業継続計画の策定など、中小企業の経営課題は、従前にも増して多様化してきています。

私ども商工中金においては、昨年6月に商工中金法の改正法案が国会において成立し、2年以内に

政府保有株式の全部が処分され、商工中金の業務範囲が見直される一方で、株主資格制限や特別準備金制度、危機対応業務の責務など、必要な各種の措置は維持されることになりました。そして、法改正を機に企業理念（パーパス）である「企業の未来を支えていく。日本を変化につよくする。」を皆さまとの約束として定款にも規定しました。

社会情勢や中小企業の経営課題が大きく変化する中、商工中金法改正の趣旨を踏まえ、中長期的に中小企業が直面する経営課題を踏まえ策定した中期経営計画に基づき、これまで以上に様々なニーズにお応えできるようサービス、機能を強化してまいります。

具体的には、主要戦略として「サービスのシフト」、「差別化分野の確立」、「企業変革」を設定し、課題解決に向けて取り組むお客さまに対して様々な経営リソースを提供することを通じて、総合的な課題解決力を発揮し、変化に つよ い企業経営をお客さまとともに実現してまいります。

また、こうしたビジネスモデル

を支える屋台骨として、引き続きコンプライアンスの徹底や内部管理態勢の強化に取り組むとともに、職員の能力を最大限に発揮するため、ダイバーシティの推進やインクルージョンを徹底してまいります。

なお、千葉支店は一昨年11月、千葉市中央区新千葉1-4-3W ESTRIO千葉フコク生命ビル9階に移転し、約1年が経過しました。引き続き「中小企業による、中小企業のための金融機関」として、皆さまから信頼され、支持され、これまで以上にお役に立てるよう、従業員一同、全力で努力を続けてまいりますので、本年も格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆さまのご繁栄とご健勝をお祈りいたしましてご挨拶いたします。



## 中央会の主な事業等活動予定（1月）

令和5年12月12日現在

月日	曜日	内 容	担当部署
<b>■ 中小企業連携組織対策事業</b>			
1/17	水	<b>連携組織活性化研究会</b> 対象：協同組合シー・ソフトウェア	工業連携支援部
1/24	水	<b>連携組織活性化研究会</b> 対象：白井地区商店会連合会	商業連携支援部
1/30	火	<b>組合等新分野開拓支援事業</b> 対象：千葉県コンクリート製品協同組合	工業連携支援部
<b>■ 全中補助事業</b>			
1/18	木	<b>令和5年度外国人技能実習制度適正化事業における適正化講習会</b>	設立支援部
<b>■ 団体等運営支援事業</b>			
1/15	月	<b>千葉県中小企業団体青年中央会 役員会</b>	工業連携支援部
		<b>千葉県異業種交流融合化協議会 知財ビジネス研究会</b>	
		<b>商業4団体と県との意見情報交換会</b>	商業連携支援部
		<b>千葉県商店街連合会 商業機能強化事業</b> 対象：商店街振興組合柏二番街商店会	
1/16	火	<b>千葉県中小企業団体事務局責任者協会 令和5年度第1回役員会</b>	経営支援部
<b>■ その他</b>			
1/26	金	<b>令和5年度第3回正副会長会議</b>	総務部
		<b>令和5年度第2回理事会</b>	
		<b>令和6年 中小企業団体千葉県新春交流会</b>	

## 千葉県特定（産業別）最低賃金改定のお知らせ

千葉県特定（産業別）最低賃金は、下表のとおり、2業種について金額の改定が行われ、令和5年12月25日から適用されます。

詳細は、千葉労働局賃金室（TEL：043-221-2328）または最寄りの労働基準監督署へお尋ねください。

業 種	最低賃金額 時間額(円)	最低賃金の適用について
鉄 鋼 業	1,096円	次に掲げる者は「千葉県最低賃金」の適用となります。 (1) 18歳未満又は65歳以上の者 (2) 雇入れ後6月未満の者であって、技能習得中のもの (3) 清掃又は片付けの業務に主として従事する者
電子部品・デバイス・ 電子回路、電気機 械器具、情報通信 機械器具製造業 (電球・電気照明器具製 造業、電気計測器製 造業及びこれらの産業に おいて管理、補助的経 済活動を行う事業所を 除く。)	1,055円	次に掲げる者は「千葉県最低賃金」の適用となります。 (1) から (3) は鉄鋼業に同じ (4) 次に掲げる業務を主として従事する者 イ 主として手作業による又は手工具若しくは小型電動工具、操作が容易な小型機械を用いて行う部品の組み立て又は加工業務のうち、組線、巻綿、端末処理、はんだ付け、取付け、穴あけ、みがき、刻印打ち、かしめ、バリ取り、材料の送給、選別の業務 ロ 塗油、検品の業務 ハ 手作業による袋詰め、包装の業務 ニ 軽易な運搬、部品等の整理、賄い等の雑役業務

経営のヒント  
組合の「賃上げ促進  
税制」活用を考える

新聞やテレビに「賃上げ」の言葉を見ない日はありません。賃上げを実施しこれを適切に価格転嫁できる体制を構築することで経済に好循環を生み出し、永きにわたるデフレから脱却したい。今こそその千載一遇のチャンスだ!!、これは政治においても与野党問わず一致した見解のようです。

かねてよりこの流れをバックアップするものとして「賃上げ促進税制」。「給与等の支給額が増加した場合の法人税額の特例控除」が用意され、賃上げ実施額に応じた一定額をその法人が納付すべき法人税額から控除できることとされ、その後数次の改正を経て今日に至っています。

本稿では現行の「賃上げ促進税制」の要点を概説し、加えて特に中小企業分野においてさらに「使い勝手の良い」税制にす

べく政府与党で検討中の改正の方向をお伝えします。

組合運営の安定と発展に組合事務局機能の充実が必要であることに疑問の余地はありません。従って組合事務局スタッフの「賃上げ」も進んで取り組みたいテーマだと言えるでしょう。

さて、組合における「賃上げ」の価格転嫁は、組合賦課金の増額や共同事業の事業収入と事業費の見直しなどを検討することから始めることになるでしょう。そしてそれらの具体的な決定と実施が、組合における賃上げ分の価格転嫁の実現と好循環の発生に他なりません。

まねに、組合事務局の労務環境は、組合員企業のそれを上回ってはならないとするような暗黙の風潮が支配的であるケースも見受けられます。就労時間や休日数について、特にそのような意識が強いです。このような意識の発生は組合役員・組合員企業の経営者であることを思えば、わからないではありませんが、そこに拘泥しては「組合員の経営改善に貢献する組合

運営」は到底望めません。組合員企業と組合が就労環境においては、相互に競い合うような関係こそ、組合設立の所期の目的を達成するに必要な要素だと思われまます。

さて組合事務局における「賃上げ」は税制面でのようにバックアップされているか、その要点を大まかに見ていきます。

中小企業向けの賃上げ税制は、中小企業者等が前年度より給与を増加させた場合に、その増額の一部を法人税から控除できるときの制度で、組合に即して見ると次のような内容です。

(1) 税額控除

組合で実施した「賃上げ」額の増加率に応じ、下記①または②の額が組合の納付すべき法人税額から控除されます。

- ① 『雇用者給与等支給額』が前年度と比べて1.5%以上増加した場合  
↓増加額の15%
- ② 『雇用者給与等支給額』が前年度と比べて2.5%以上増加した場合  
↓増加額の30%

つまり、賃金アップ額の15%または30%を組合が法人税を納付の際に控除することで、賃上げ原資の一部を国が実質的に負担する仕組みです。

(2) この税制を適用する際に注意すること

- ① 青色申告書を提出する中小企業者であること  
中小企業等協同組合・出資組合である商工組合・これらの組合の連合会は無条件に中小企業者に該当します。
- ② 給与等とは  
この税制の計算対象なる「給与等」とは、俸給・給料・賃金・賞与並びにこれらの性質を有する給与とされています。また非課税の通勤手当も含まれます。ただし賃金台帳に記載された支給額のみを対象にして、非課税通勤手当を含めない計算





<p>千葉県製麺工業(協) 代表理事 藤代孝之</p>	<p>船橋青果卸売(協) 理事長 平栄三</p>	<p>関東自動車共済(協) 理事長 長縄博之</p>	<p>千葉県石油(協) 理事長 安藤順夫</p>	<p>千葉県醤油工業(協) 代表理事 山本一郎</p>
<p>千葉振興建設業(協) 代表理事 佐川克豊</p>	<p>千葉県コンクリート製品(協) 理事長 寺田裕之</p>	<p>千葉県クレーン建設重機(協) 代表理事 佐藤浩昭</p>	<p>千葉県自転車商協同組合 代表理事 鈴木榮太郎</p>	<p>千葉県遊技業(協) 理事長 星山聖達</p>
<p>千葉県産業廃棄物処理業(協) 理事長 山本隆</p>	<p>千葉県建設防水工事業(協) 理事長 関正一</p>	<p>(協)船橋トラックセンター 代表理事 鈴木正</p>	<p>千葉県生コンクリート工業組合 理事長 勝呂和彦</p>	<p>千葉船業(協) 代表理事 田原安</p>
<p>千葉県乳業(協) 代表理事 古谷宗久</p>	<p>千葉県測量設計補償(協) 代表理事 牧野光秋</p>	<p>富津市環境清掃(協) 代表理事 斎藤昇</p>	<p>千葉県セメント卸(協) 代表理事 織田善信</p>	<p>(協)千葉県鐵骨工業会 代表理事 栗原宏</p>

<p>井出康浩</p> <p>(企) はらから 代表理事</p>	<p>秋山稔</p> <p>千葉青果卸売 (協) 代表理事</p>	<p>飯塚真太郎</p> <p>野田工業団地 (協) 代表理事</p>	<p>飯村明義</p> <p>千葉市工業センター (協) 代表理事</p>	<p>熊谷正喜</p> <p>千葉鉄工業団地 (協) 代表理事</p>
<p>小野塚雄</p> <p>松戸駅周辺商業 (協) 理事長</p>	<p>池田淳一</p> <p>全千葉警備業 (協) 理事長</p>	<p>近藤茂行</p> <p>千葉総合卸商業団地 (協) 代表理事</p>	<p>越部円</p> <p>千葉県貿易 (協) 代表理事</p>	<p>上野宏幸</p> <p>千葉青果商業 (協) 代表理事</p>
<p>金子道大</p> <p>千葉県保険流通 (協) 代表理事</p>	<p>柳明宏</p> <p>令和国際連携 (協) 代表理事</p>	<p>半田洋一</p> <p>市原市管工事 (協) 代表理事</p>	<p>丸山佳希</p> <p>千葉市一般廃棄物収集運搬 (協) 代表理事</p>	<p>戸澤優之</p> <p>高滝湖観光 (企) 代表理事</p>
<p>皆倉宣之</p> <p>千葉学習塾 (協) 代表理事</p>	<p>佐藤宣仁</p> <p>千葉県消防設備 (協) 代表理事</p>	<p>中村和一</p> <p>船橋総合卸商業団地 (協) 代表理事</p>	<p>中村仁一</p> <p>船橋機械金属工業 (協) 代表理事</p>	<p>篠崎尚史</p> <p>千葉港港湾運送事業 (協) 理事長</p>

<p>川上 主介</p> <p>千葉県学校給食パン・米飯（協） 代表理事</p>	<p>寺嶋 憲夫</p> <p>柏駅前第一商業（協） 代表理事</p>	<p>西村 久行</p> <p>野田市再資源化事業（協） 代表理事</p>	<p>関 和秀</p> <p>松戸ビル管理業（協） 代表理事</p>	<p>篠原 敬治</p> <p>ふなばしインタックス（協） 代表理事</p>
<p>千葉 正已</p> <p>千葉県税理士（協） 代表理事</p>	<p>松岡 健治</p> <p>KEYYOマテリアル（協） 理事長</p>	<p>洞下 英人</p> <p>流山工業団地（協） 代表理事</p>	<p>小倉 信一</p> <p>流山トラック事業（協） 代表理事</p>	<p>藤井 秀美</p> <p>柏市工業団地（協） 代表理事</p>
<p>清水 敬陽</p> <p>四街道工業団地（協） 代表理事</p>	<p>鳥羽 敏彦</p> <p>臼井ショッピングセンター（協） 代表理事</p>	<p>小川 進</p> <p>印旛食肉センター事業（協） 代表理事</p>	<p>醍醐 信次郎</p> <p>浦安市リサイクル資源（協） 代表理事</p>	<p>木名瀬 好二</p> <p>野田市商業（協） 理事長</p>
<p>横山 祐一</p> <p>山武管工事業（協） 代表理事</p>	<p>中村 秀朗</p> <p>（協）東金ショッピングセンター 代表理事</p>	<p>小池 正男</p> <p>千葉県木材市場（協） 代表理事</p>	<p>篠原 正人</p> <p>千葉県旅館ホテル生活衛生同業組合 理事長</p>	<p>森泉 博佳</p> <p>千葉仮設足場ワーカーズセンター（協） 理事長</p>

<p>渡邊昇</p> <p>木更津鮮魚商 (協) 代表理事</p>	<p>大塚完</p> <p>千葉県酒造 (協) 代表理事</p>	<p>小林一友</p> <p>大原中央商店街 (協) 代表理事</p>	<p>小関正幸</p> <p>長生郡市管工事 (協) 代表理事</p>	<p>伊藤昇</p> <p>海匠ガス事業 (協) 代表理事</p>
<p>中村俊行</p> <p>千葉県板金工業組合 代表理事</p>	<p>岩渕泰博</p> <p>千葉県電機商業組合 代表理事</p>	<p>鈴木隆</p> <p>柏市廃棄物処理業 (協業) 代表理事</p>	<p>石井良典</p> <p>千葉県建設業 (協) 連合会 理事長</p>	<p>岩渕明弘</p> <p>千葉県医薬品卸 (協) 理事長</p>
<p>小川優</p> <p>栄町衣料 (協) 代表理事</p>	<p>石戸新一郎</p> <p>(振興) 柏二番街商店会 代表理事</p>	<p>千崎悟之</p> <p>千葉県中古自動車販売商工組合 代表理事</p>	<p>瀧澤一泰</p> <p>千葉県鍍金工業組合 代表理事</p>	<p>芦田松昭</p> <p>習志野市造園工事業 (協) 代表理事</p>
<p>渡辺勉</p> <p>千葉県中小企業団事務局責任者協会 会長</p>	<p>野村進一</p> <p>千葉県異業種交流融合化協議会 会長</p>	<p>安藤順夫</p> <p>千葉県官公需適格組合 受注促進協議会 会長</p>	<p>出野祥平</p> <p>千葉県自動車販売店協会 会長</p>	<p>大里光夫</p> <p>千葉県自動車車体整備 (協) 理事長</p>

情報連絡員報告を中心とした  
県内の中小企業動向（11月）

## 製造業

■**しょう油食用アミン酸製造**【県内全域】

例年通り、年末商戦に向け、出荷が活発になってきた。

■**パン・菓子製造**【県内全域】

11月は、売れ行きがあまりよくない。

■**酒類製造**【県内全域】

売上は、前月比及び前年同月比ともにほぼ横ばい。

■**繊維工業**【県内全域】

新規物件は、多少あるものの小ぶりである。

■**木材・木製品製造**【県内全域】

出荷量は少なく、杉、桧ともに単価は上がり気味。

■**製材**【木更津】

米材、カナダ材ともに入港無し。在庫は減少。

■**印刷**【県内全域】

今月も県内の印刷物の動きは、良くなかった。

■**鉄工**【千葉】

全体的に景況感はあまり良くない。人手不足に加え、外注先の廃業などにより新たな

外注先を確保することに難航している組合員も見受けられる。

■**機械部品製造**【野田】

前月比売上減、前年度比ほぼ横ばい。稼働日数が減った分だけ売上減であったが、暖冬のせいかパツとしない。

■**機械部品製造**【流山】

業種により売上が減少するなど、景況は不透明感が強い。

■**機械部品製造**【柏】

新製品や開発の要望は展示会等の機会が多くあるが、なかなか量産に繋がらない。

■**金属部品製造**【船橋】

建設業界自体は、堅調に推移しているが、人手不足により対応は厳しい状況にある。

■**採石**【県内全域】

今月は横浜港新本牧地区岸壁への石材出荷があり、今月の出荷量が、前月及び前年同月比で上回った。

■**非製造業**

■**総合卸売**【千葉県、東京都】

仕入価格や物流費の上昇を販売価格に転嫁できない状況が続く、採算は悪化している。

■**飲食業**

飲食業向けの売上は回復して

きているが、全体的には買い控えの影響から減収となっている。

■**医薬品卸売**【千葉】

実働日数は前年同日の20日であったが、前年比では若干の増加で終了した。要因の一つとして、インフルエンザが

感染拡大しており、関連する治療薬や検査キットの需要が高くなっている。

■**青果卸売**【千葉】

青果物の価格は安定し、例年同様、取引全般において単価が下がったため、低調となった。

■**食肉卸売**【成田市】

豚価が安い。販売数量は前月と変化しないものの、豚価が下がったことにより売上高が減少。

■**小売**【柏】

秋が短く、早々に冬へシフト。状況は落ち着いているが、相変わらず、前年より採算悪化。

■**電気機器小売**【県内全域】

新規及び買い替え需要も無く低調な購買。歳末が心配である。売れ筋のテレビの欠品

もあり、メーカーの商品供給が心配である。新規及び買い替え需要も無く低調な購買。歳末が心配である。売れ筋のテレビの欠品

■**青果小売**【千葉】

野菜類は高値相場であったため、売上は増加したが、数量は減少となり、収益は悪化した。

■**中古車仕入・販売**【県内全域】

新車納車の回復で下取り車の流通量が増加し、中古車の流通が昨年比改善している。

■**小売**【東金】

食品、ファッション関係が減少傾向が続いている。寒くなってきたので、冬物ファッションが動き始めた。飲食、サービ

ス関係は動き継続して良い。

■**商店街**【千葉】

インボイス制度のスタートによって、経理上の事務が煩雑になっており、事務局の処理・対応能力が懸念される。

■**土木建築サービス**【県内全域】

理事が5班編成で年間複数回の土木事務所訪問を手掛けたことで、道路台帳補正業務の掘り起こしに成果を挙げてきたことから、今年度も継続して実施した。

■**ソフトウェア**【県内全域】

IT投資に係る引き合い案件は引き続き増加しており、小幅であるが改善の傾向。

■**建設**【県内全域】

組合員による11月中の県内建設関連の公共工事の落札結果は、256件、8,750百万円となり、前月比△3,429百万円の減少となった。

■**貨物運送**【野田】

昨年と比較して売り上げは良くなっているものの、利益は必ずしも良いとは言えない。

■**輸出**【県内全域】

11月に入り多少、空港利用客数に鈍化傾向がみられる。特に日本人旅行者においては、先月に比べて減少傾向を強く感じている。

■**建設揚重**【県内全域】

業績は大きな変動はないが、燃料、その他資材の高騰が経営悪化の要因である。

■**建設**【県内全域】

業績は大きな変動はないが、燃料、その他資材の高騰が経営悪化の要因である。

■**建設**【県内全域】

業績は大きな変動はないが、燃料、その他資材の高騰が経営悪化の要因である。

■**建設**【県内全域】

業績は大きな変動はないが、燃料、その他資材の高騰が経営悪化の要因である。

■**建設**【県内全域】

業績は大きな変動はないが、燃料、その他資材の高騰が経営悪化の要因である。

■**建設**【県内全域】